



愛知県立旭丘高等学校

AICHI PREFECTURAL ASAHIGAOKA SENIOR HIGH SCHOOL

学校案内 2024



真理と正義を愛し、 自主・自律の精神に充ちた 心豊かな生徒の育成

HOLISTIC EDUCATION

本校教育の基盤である学習と部活動の両立および両者の徹底指導を堅持し、百四十年の歴史をもつ本校特有の伝統である「正義を重んぜよ」「運動を愛せよ」「徹底を期せよ」の精神の伸張にさらに努力し、知・徳・体を兼備した人物の養成に心がける。



教育目標

EDUCATIONAL GOALS

真理と正義を愛し、自主・自律の精神に充ちた心豊かな生徒の育成を期し、高等学校としての全人的完成教育を行う。そのため、教師と生徒は相互に信頼しあい、学習活動と特別活動との健全な均衡の上にたち、民主主義の原理と方法とを体得し、社会全体の幸福と持続可能な発展につながる新たな価値の創出に向けて、自己の全能力を発揮させるように努める。

■特徴
学習指導では、教科・科目間の連携や、生徒一人ひとりの多様な特性を理解して授業を展開しています。教師も生徒も、授業を大切にする気持ちを共有しています。部活動や生徒会活動、学校行事においては、生徒たちが自主的・自律的に活動し、活気あふれる学校を創り出しています。卒業後は、地元はもとより、全国各地に飛躍し、各分野で大きな活躍をしています。

スクール・ポリシー

SCHOOL POLICY

普通科

- 育成を目指す資質・能力に関する方針（本校の方針）
真理と正義を愛し自主自律の精神に充ちた心豊かな生徒の育成
- 教育課程の編成・実施に関する方針（本校の教育）
教育目標に掲げてきた「全人的完成教育」の継承と発展
- 入学者の受け入れに関する方針（期待する生徒像）
自分の可能性を信じて果敢に挑戦をする人

美術科

- 育成を目指す資質・能力に関する方針（本校の方針）
真理と正義を愛し自主自律の精神に充ちた心豊かな生徒の育成
- 教育課程の編成・実施に関する方針（本校の教育）
教育目標に掲げてきた「全人的完成教育」の継承と発展
- 入学者の受け入れに関する方針（期待する生徒像）
好奇心に溢れ未来の自分を信じられる人

学校の沿革

HISTORY OF THE SCHOOL

愛知県第一中学校（愛知一中）以来の伝統が息づいている、140余年の歴史ある学校です。愛知一中の校訓「正義を重んぜよ」「運動を愛せよ」「徹底を期せよ」が精神的伝統として受け継がれています。

明治	3(1870)年	6月	名古屋藩、七間町(中区)に洋学校(後の愛知英語学校)開設
	10(1877)年	2月	愛知英語学校の廃校に伴い、県は校舎および設備の一切を文部省から譲り受け、愛知県中学校(後の愛知県第一中学校)を設立
大正	13(1924)年	4月	名古屋市立第三高等女学校(後の名古屋市立第三高等学校)開校
昭和	13(1938)年	7月	愛知一中、東区新出来町(現校地)に移転
	23(1948)年	10月	愛知県立第一高等学校(旧愛知一中)と名古屋市立第三高等学校(旧市三高女)が統合 愛知県立旭丘高等学校発足
	25(1950)年	4月	美術課程(1学級)を設置
	52(1977)年	10月	愛知一中・市三高女・旭丘高校創立100周年記念式典举行
平成	19(2007)年	11月	愛知一中・市三高女・旭丘高校創立130周年記念式典举行
	29(2017)年	11月	愛知一中・市三高女・旭丘高校創立140周年記念式典举行

学級数・生徒数・入試倍率

NUMBER OF CLASSES / NUMBER OF STUDENTS / ADMISSION RATIO

普通科27クラス、美術科3クラス、合計30クラス。高等学校入学者選抜（一般・推薦）の倍率は、次の通りです。

	1年			2年			3年			合計			年度	R4	R5	R6
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計				
普通科	206	154	360	184	179	363	183	173	356	573	506	1079	普通科	1.65	(一般) 1.67 (推薦) 3.97	(一般) 1.67 (推薦) 3.06
美術科	2	39	41	8	30	38	3	37	40	13	106	119	美術科	2.08	(一般) 3.08 (推薦) 3.42	(一般) 3.04 (推薦) 4.58

多様な学習活動

DIVERSE LEARNING ACTIVITIES

『知的関心を高める刺激にあふれています。』

人文・社会・自然科学などの各分野の最前線で活躍している本校OBの方々などから、直接指導を受けることができます。生徒の知的好奇心を満足させるだけでなく、それをさらに刺激し、高めていくとともに、将来の進路選択にも大いに役立っています。
教養講座は図書委員会が、特別講座は該当教科の教員が中心となって企画しています。生徒企画の講座もあります。

スーパーサイエンスハイスクール（SSH）

令和元年度より、「スーパーサイエンスハイスクール（SSH）」に文部科学省より指定され、令和6年度からは第Ⅱ期（5年間）の指定を受けました。第Ⅱ期は、デジタル化とグローバル化の中、急速に日本・世界が変容する時代に、情報を基軸とした教科横断・文理融合の学習システムを構築し、これを基盤として高度な科学的探究力を卓越した総合知を獲得し、科学・技術により社会との共創を図るイノベーションを創出し、社会の変革をもたらす人材の育成に取り組みます。



ねらいと特色

本校普通科は、文系・理系を問わず多くの教科・科目を学べるカリキュラムになっています。大学受験のために学ぶのではなく、「生きる力」を育むために教養を高め、将来の進路選択の幅を広げるとともに、深い思考力や判断力、表現力を身に付け、さらに高度な探究や視野の拡大につながるよう授業を展開しています。

令和6年度入学生教育課程（普通科）

	1年	2年	3年
1	現代の国語（2）	論理国語（1）	論理国語（1）
2		文学国語（1）	文学国語（1）
3	言語文化（2）	古典探究（2）	古典探究（2）
4			
5	公共（2）	地理総合（2）	政治・経済（2）
6			
7	SS数学S（3）	歴史総合（3）	数学B（1）
8			数学C（1）
9			体育（2）
10	SS数学T（2）	倫理（1）	
11	SS生物（2）	SS数学P（3）	英語コミュニケーションⅢ（3）
12			
13			
14	SS地学（2）	SS数学Q（3）	論理・表現Ⅲ（1）
15			課題研究（探究Ⅱ）（1）
16	体育（3）	SS物理（2）	選択（15）
17			
18			
19	SS化学（2）		
20			
21			
22	体育（2）		
23	保健（1）		
24	芸術Ⅱ（1）		
25	英語コミュニケーションⅡ（2）		
26			
27	論理・表現Ⅱ（2）		
28			
29	課題研究（基礎）（1）	課題研究（探究Ⅰ）（1）	
30	課題研究（情報 <i>a</i> ）（1）	課題研究（情報 <i>β</i> ）（1）	
31	ホームルーム（1）	ホームルーム（1）	ホームルーム（1）

3年・選択	
文系	理系
世界史探究（4） 日本史探究（4） 地理探究（4） から4単位	世界史探究（3） 日本史探究（3） 地理探究（3） から3単位
数学 a （3）	数学 β （3）
SS物理（1） SS化学（1） SS生物（1） SS地学（1） から2単位	探究化学（4）
古典講読（3） 世界史探究 日本史探究 地理探究 発展英語（3） から6単位	探究物理（5） 探究生物（5） 探究地学（5） から5単位

時間割の例（1年）

	月	火	水	木	金
1	公共	保健	地学	情報 a	家庭
2	体育	地学	体育	言語	現国
3	生物	現国	言語	体育	COMⅡ
4	数T	公共	数S	論表Ⅰ	芸術
5	家庭	芸術	論表Ⅰ	生物	基礎
6	COMⅢ	COMⅢ	数T	数S	HR
7	数S				

ねらいと特色

本校美術科は、旭丘高校の教育方針である全人的完成教育を目指すとともに、広く美術全般にわたって基礎的な知識・技能を習熟させることを目標としています。その教育内容は、上級学校へ進学する力を身に付けるとともに、将来、画家・彫刻家・美術職業人として現代社会の要求に応じる力を身に付けることができるように工夫されています。

令和6年度入学生教育課程（美術科）

	1年	2年	3年
1	現代の国語（2）	文学国語（1）	文学国語（1）
2		古典探究（2）	古典探究（1）
3	言語文化（2）		地理総合（2）
4			
5	公共（2）	歴史総合（2）	地学基礎（2）
6			
7	SS数学X（2）	SS数学Y（2）	体育（2）
8			
9	SS総合科学（2）	生物基礎（2）	英語コミュニケーションⅡ（2）
10			
11	体育（3）	体育（2）	論理・表現Ⅱ（2）
12			
13	保健（1）	保健（1）	美術概論（2）
14			
15	英語コミュニケーションⅠ（2）	英語コミュニケーションⅡ（2）	鑑賞研究（1）
16			
17	論理・表現Ⅰ（1）	論理・表現Ⅰ（1）	素描（3）
18	構成（6）	家庭基礎（2）	
19		美術史（1）	絵画・日本画（8） 絵画・油彩画（8） 彫刻（8） ビジュアルデザイン（8） から8単位
20	素描（4）	素描（3）	
21		日本画（2）	
22	油彩画（2）	彫刻（2）	選択（2）
23			
24	課題研究(情報θ)（2）	彫刻（2）	選択（2）
25			
26	課題研究(人間性)（1）	課題研究(知識)（1）	課題研究(技能・表現)（1）
27	ホームルーム（1）	ホームルーム（1）	ホームルーム（1）

3年・選択
SS数学Z（2） 選択素描（2） から2単位

美術科特有の行事

■写生旅行（7月下旬）
1年生と2・3年生の希望者を対象に、3泊4日で実施します。山や海に赴き4日間集中して油彩画を制作します。旅行中2度行われる講評会では、教員からアドバイスを受けるだけでなく、生徒自身が制作意図を述べるなど、主体的・対話的で深い学びの場となります。授業だけでは得ることのできない発見があり、絵画表現の可能性を追求する態度を養います。

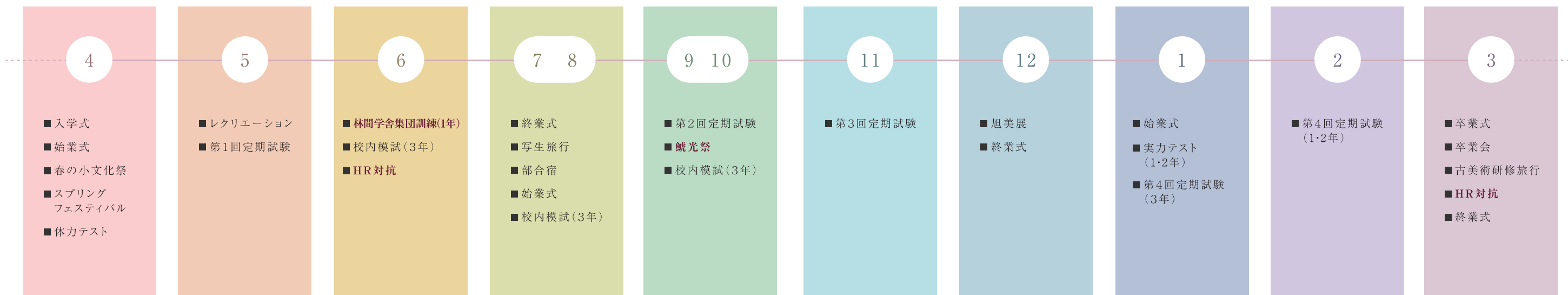
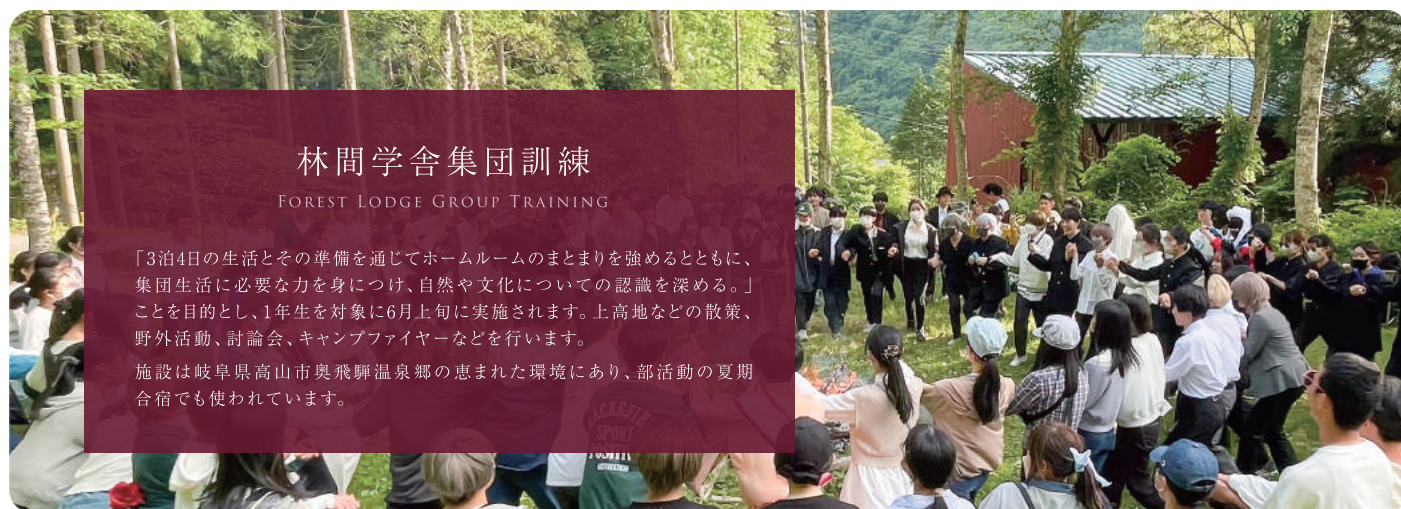
■古美術研修旅行（3月上旬）
「美術史」の実地研修として2年生を対象に3泊4日で実施します。京都・奈良・滋賀の寺院や博物館を巡りますが、1年間を通して事前学習をしています。「美術史」で歴史的背景を学ぶだけでなく、「課題研究（知識）」と連動し、拝観する寺院や仏像などの個人研究・発表を行うことで主体的な研修となり、横断的・総合的な学習となります。また、外部講師を招き保存修復についての特別授業を行うことで、文化遺産や美術文化についての理解を深めます。

■旭美展（12月上旬）
3年生の卒業制作展として愛知県美術館ギャラリーにて開催します。日本画・油彩画・彫刻・デザインの各専攻の授業作品を発表します。制作過程における専門的な学びは当然のこと、展覧会で作品を発表することや展覧会を運営することを通して、生活や社会の中での美術を実体験し、将来への好影響を期待しているものです。「課題研究（技能・表現）」での学びに加え、1年生の「課題研究（人間性）」で学んだ作家に関する個人研究・発表、2年生の「課題研究（知識）」で学んだ美術館・画廊に関する個人研究・発表とも深く結びつき、横断的・総合的な学習となります。

時間割の例（1年）

	月	火	水	木	金
1	体育	素描	情報 θ	構成	論表Ⅰ
2	言語	素描	数X	構成	数X
3	公共	公共	COMⅠ	構成	総科
4	情報 θ	課研人	現国	体育	体育
5	構成	現国	素描	総科	言語
6	構成	保健	素描	COMⅠ	HR
7	構成				

年間行事予定 ANNUAL EVENT SCHEDULE



- **1日目 / 前夜祭**
前夜祭は、ライブのような雰囲気の中、オーディションで選ばれたバンドや漫才、ダンスなどの発表が行われます。
- **2日目 / 体育祭**
体育祭は、1・2・3年生が「タテ」というチームを作って競います。玉入れやリレー、綱引き、借り人競走、障害物競走、台風の日、旭伝リレーなどさまざまな競技が行われます。タテごとにピティという大きな座席を設営し、応援も盛り上がります。
- **3日目 / 舞台発表**
舞台発表は、前夜祭とは違い落ち着いた雰囲気の中、音楽の発表が行われます。
- **3日目 / 分科会**
分科会は、有志の生徒が講師となり、得意分野の講演等が行われます。
- **4日目 / 討論会**
討論会は、全校を3つのグループに分け、テーマに沿って話し合いをします。普段なかなか真面目に話し合うことの少ないテーマや、些細なテーマまで、他者の意見を聞き知見を広げることのできる貴重な機会です。
- **5・6日目 / 文化祭**
文化祭は、土日に実施され一般公開をしています。ホームルームごとに発表や演劇を行います。その他、部活動や有志団体が発表や展示をします。
- **6日目 / 後夜祭**
後夜祭は、前半は鯨光館、後半は運動場で行います。ロマンティックな雰囲気の中で行われる有志団体の発表やファイヤートーチ、旭丘応援団や火文字、花火などとても素敵です。

部活動

CLUB ACTIVITIES

運動に文化活動に意欲を燃やす生徒たち

令和3年度から5年度の部活動・同好会の実績一覧です。
オフィシャルウェブサイト「部活動報告」にて、最新の情報を随時更新しています。ぜひご覧ください。

■ 総合	令和5年度名古屋市内愛知県立総合体育大会 男子 総合優勝・女子 準優勝	■ 放送	NHK杯全国高校コンテスト全国大会 準々決勝進出
■ 陸上競技部（男・女）	全国高校総体出場 全日本競歩能美大会 5kmW 3位 U18陸上競技大会 3000mW 3位 全日本びわ湖クロスカントリー大会 7位	■ 生物部	日本生物オリンピック 銀賞
■ 水泳（男・女）	東海総体 自由形 6位	■ 吹奏楽	愛知県吹奏楽コンクール県大会 銀賞 東海アンサンブルコンテスト 銀賞
■ 弓道（男・女）	県大会出場（選抜大会・新人戦）個人	■ 映画制作	映画甲子園 佳作
■ 柔道（男・女）	県総体 2回戦進出	■ 写真	高文連名北写真展 優秀賞 奨励賞
■ 剣道（男・女）	県新人出場 団体	■ 電気	ALL JAコンテスト出場
■ サッカー（男）	県大会出場（総体・選手権）	■ 軽音楽	高等学校軽音楽コンテスト中部大会 グランプリ 県高等学校軽音楽大会 4位 ベストプレイヤー賞（キーボード・ギター・ドラム）
■ サッカー（女）	県大会3回戦進出（総体・選手権）	■ 囲碁・将棋	全国高等学校囲碁選手権 個人第3位 全国総合文化祭 囲碁部門全国大会出場 全国高等学校将棋選手権出場
■ バレーボール（男）	県総体 ベスト8	■ 弦楽	全国高文祭 県合同管弦楽団員として出演
■ バレーボール（女）	県バレーボール選手権名北予選 ベスト8	■ 演劇	中部日本高等学校演劇大会中部大会 奨励賞
■ バスケットボール（男）	県新人 ベスト16	■ 書道	全国高等学校総合文化祭東京大会 優秀賞
■ バスケットボール（女）	名北新人 3回戦進出	■ 合唱	県ヴォーカルアンサンブルコンテスト 金賞
■ ハンドボール（男）	県新人 4位	■ 鉄道研究	全国高校鉄道模型コンテスト 出品
■ ハンドボール（女）	県総体 3位	■ 競技かるた	小倉百人一首かるた全国高等学校選手権大会 ベスト16 高等学校総合文化祭 小倉百人一首部門出場 全国高校生かるたグランプリ 3位
■ 卓球（男・女）	男子県新人出場 女子県大会 ベスト16（総体・新人）	■ 数理科学	JSEC（高校生化学技術チャレンジ） 優秀賞 情報オリンピック アジアバンファシフィック大会出場 日本化学オリンピック 銀賞 日本地学オリンピック 奨励賞 SSH生徒研究発表会全国大会化学部門ポスター賞
■ バドミントン（男）	県大会出場（総体・新人）	■ クイズ研究	AQL全国大会 5位 ニュース博識甲子園全国大会 8位
■ バドミントン（女）	新人戦名北予選 2回戦進出	■ ESS	全国高等学校英語スピーチコンテスト 2位
■ テニス（男）	県総体 団体出場	■ 天文	観測会実施
■ テニス（女）	県新人団体 ベスト8	■ 図書	文芸誌「旭藝」発行
■ ソフトテニス（男）	県大会出場（総体・新人）個人・団体	■ ファイヤートーチ	イベント参加
■ ソフトテニス（女）	県大会出場（総体・新人）個人・団体	■ 絵画研究	制作
■ ボート（男・女）	全国高校総体男子舵手つきクォドルブル4位 国民体育大会女子舵手つきクォドルブル 準決勝進出 東海総体男子総合 優勝	■ JRC	募金活動実施 献血キャンペーン
■ ダンス	全国高校大学ダンスフェスティバル神戸出場 日本高校ダンス部選手権新人戦 東海・北陸大会 準優勝		
■ ワンダーフォーゲル（男・女）	全国高校総体出場		
■ ラグビー部	県新人出場 全国高校合同ラグビーフットボール大会 3位（代表選手） 全国高校ラグビーフットボール大会 10人制ラグビー県大会 優勝		



進路状況

COLLEGE ADMISSION STATISTICS

全国各地に飛躍する生徒たち

大学名	2024	2023	2022	大学名	2024	2023	2022	大学名	2024	2023	2022
北海道	16	8	19	大阪	13	11	10	早稲田	68	58	54
東北	7	3	5	神戸	12	6	13	慶應義塾	38	44	47
東京	28	25	31	九州	8	2	3	東京理科	73	46	45
東京工業	3	5	2	東京藝術	1	4	5	同志社	114	93	132
一橋	5	6	4	金沢美術工芸	4	3	5	立命館	114	103	130
名古屋	43	40	46	愛知県立芸術	13	8	9	多摩美術	4	4	9
京都	41	39	40					武蔵野美術	8	1	7
国公立大計	289	260	309	うち医学科計	33	34	38				

図書館

LIBRARY

本校の歴史を物語る蔵書数 80,000冊

ドアを開くとまず目に入るのが、美術科の生徒による名画シリーズのチョーク画。チョークで描かれているとは思えないほど本物そっくり。黒板からはみ出るほどのダイナミックな絵が描かれています。

図書館のフロアはじゅうたんが一面に敷かれていて、音が吸い込まれるので、静かな落ち着いた雰囲気です。読書や学習ができます。また、同窓会から寄贈されたバーコード・システムによって蔵書を管理しています。

閲覧室	100名収容可能。冷暖房が完備されています。
ブラウジングコーナー	くつろいだ気分で新聞や雑誌を閲覧できます。
書庫	開架書庫に、名古屋藩学校、愛知英語学校から継承した貴重な和書・洋書を収納しています。
図書資料館	「学林」や「旭苑」を始め、愛知一中、旭丘高校の刊行物などを収納しています。
図書資料	新聞8種：朝日・毎日・読売など 雑誌36種：アサヒカメラ・文芸春秋・中央公論・現代化学・エコノミストなど



施設・設備・所蔵品

FACILITIES / EQUIPMENT / HOLDINGS AND COLLECTION

旭丘高校には、生徒の知的好奇心を満たすための施設や設備、所蔵品が多数あります。

その多くは本校教育の基盤である学習と部活動の両立および両者の徹底指導を堅持し、百四十年の歴史を持つ本校特有の伝統が生み出したものです。そしてこれからの未来を創造する原動力に結びついています。

施設・設備

生徒サロン

STUDENT SALON

各階の中央にある生徒サロンは休み時間の交流や放課後の活動場所として使用され、生徒会の連絡BOXや掲示板が設置されています。壁には美術作品も展示されています。



階段教室

TIERED CLASSROOM

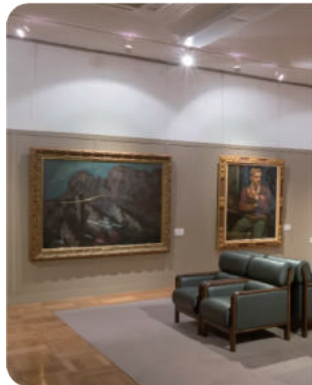
1945年3月の名古屋大空襲時、三菱工場目標の焼夷弾が旭丘にも落ち、職員が消火しました。焦げた旧校舎の物理講義室腰壁と、停止した掛け時計は新校舎の階段教室に展示され、戦時を伝えています。



美術展示室

ART GALLERY

1F校長室の隣に設けられた美術品展示室には、所蔵美術品が展示されています。出入口箇所の両開き扉は、旧校舎の玄関のものを使用。伝統の継承が図られています。



運動施設

SPORTS FACILITY

本校教育の基盤である学習と部活動の両立および両者の徹底指導を堅持するために、運動場を始め競光館(主体育館)、小体育館、武道場など様々な運動、部活動に必要な設備が充実しています。

美術科棟

ART BUILDING

本校の美術科は、美術全般の基礎知識と技能を習熟することを目指し、専用の3階建て美術科棟(アトリエ)を有しています。この棟は油彩画、日本画、彫刻の各専門教室と、天窓から自然光が入る3階を特徴としています。



高度な実験設備

ADVANCED LABORATORY EQUIPMENT

PCR検査装置や双眼顕微鏡などの機器をはじめ、学び、研究に対する知的好奇心を満たすための最新設備が設置されています。



中庭

COURTYARD

校舎と観光館に囲まれた中庭は、生徒によって昼休み、放課後、早朝にわたり多目的に利用されています。昼食の場所や部活動の練習場として活用されるほか、美しいタイルと周囲の木々が憩いの空間を提供しています。



林間学舎

OUTDOOR EDUCATION CENTER

1965年にPTAから独立し、一般財団法人愛知旭丘会が設立されました。1967年には愛知県立旭丘高等学校の林間学舎が愛知旭丘会の施設として、奥飛騨温泉郷一重ヶ根に完成しました。



所蔵品

旭丘高校の所蔵品を一部ご紹介します。



日比野寛像

校内に日比野寛校長の銅像を建立し、創立百年祭の最後の事業とした。銅像は柴田鋼造氏(旭丘美術科1期生)が制作し、多湖実夫氏が碑文を手掛けた。日比野校長は1899年から1917年まで校長を務め、特に体育に注力した。制作者は銅像が日展作家片岡静寛氏作、台座は平松文雄氏(愛知一中49回)作、台座に嵌め込まれた銅板には久松潜一氏(愛知一中36回)の撰並びに書が刻み込まれている。



身神保健の台座

1918年に建立された日比野寛像の台座。愛知一中生徒に親しまれてきた日比野寛像は第二次世界大戦中に供出の対象となり、「身神保健」の碑文の付いた台座だけが残された。「保健」の二字は、日比野寛校長が日本で初めて用いたもの。なお、書は永坂石塊(周二)氏の揮毫である。



正門門柱

2017年に愛知県立第一中学校の正門門柱が、歴史的景観への寄与で国の登録有形文化財に指定された。この門は学校の現在地へ移転時に建設され、主門柱2本と脇門柱1本の鉄筋コンクリート造りで、元々は合計4本の柱から成っていた。



校舎の丸窓

旧校舎のシンボルであった正面3階の丸窓は、伝統継承の意味で、2003年の新校舎竣工の際に正面4階に設置された。正面以外に設置されていた丸窓も4つあり、それらは家庭科棟への2階渡り廊下へ移設された。



正義運動徹底の書

南京師範大学美術系教授であった尉天池が、1986年に愛知教育大学客員教授として来日中に本校を訪問。その際に愛知一中の校訓を揮毫。



AFFINITY

1977年の創立百年祭記念に、愛知一中、市三高女、旭丘の伝統と未来への希望を象徴する「affinity」(親和)碑が建立された。制作者は清水九兵衛氏、設計者は川口喜代枝氏、施工は石田錠太郎氏によるもの。



日独友好の碑

1915年、第一次世界大戦中に名古屋にドイツ人収容所が設けられ、519名が5年間生活した。収容者は地域住民と交流し、ドイツ人製パン技術者はシギシマパン設立に寄与し技術向上にも努めた。



モザイク壁画

中庭に面した機械室の西壁に、工事のため取り壊される予定の地下鉄八事駅の壁画を移設。原画は伊藤廉氏(愛知一中40回)による東京国立美術館蔵の「バルコニーからの風景」(1978年制作)右半分は八事駅に残る。



植物標本(腊葉標本)

伊藤篤太郎(理学博士第一号である伊藤圭介翁の孫で、博物学において翁の後継者。本校の前身愛知県尋常中学校に勤務したことがある。)採集のものから、幕末、明治期の頃のものなど、古い腊葉標本が数多く残されている。



読書人恒向高

戦後もない1950年、生徒の知的飢渴を満たすために図書館は日々盛況であった。そうした熱気を背景に当時の図書委員(旭丘2期)の三氏が国会図書館に初代館長の金森徳次郎氏(愛知一中28回)を訪ね、揮毫をお願いし、山口麗華氏の手により彫られたもの。

同窓会（鯨光会）

ALUMNI REUNION (KOKOU KAI)

組織

平成15年4月1日、愛知一中会・三校会・旭丘高校同窓会が一本化し、会員総数4万人の鯨光会」が発足しました。毎月行われる「月例会」、奇数月に発行される会報「鯨光」を始め、充実した活動が行われています。

本校が知・徳・体の教育を充実し、社会に有益な人材を育成することに対して、物心両面にわたる援助を行うという目的の達成のために、毎年、部活動および頭著な業績をあげた個人の顕彰と援助を行っています。

本校の著名な卒業生

坪内 逍遙（1859～1935）	明治の文豪
二葉亭四迷（1864～1909）	明治の文豪
久松 潜一（1894～1976）	国文学者、東京大学名誉教授
加藤 高明（1860～1926）	第24代内閣総理大臣、普通選挙法成立
盛田 昭夫（1921～1999）	ソニー創業者
伊藤 廉（1898～1983）	洋画家、東京藝術大学名誉教授

主な事業

顕彰式（記念賞）	在校生の部としては、1989（平成元）年度より部活動顕彰の部（記念賞）、文化作品の部（旭丘文化賞）と旭美展の部の3部門を顕彰しており、これらの予算は顕彰基金の利息より支出されています。
在校生部活動援助金	1989（平成元）年度から、在校生の部活動に対して新たに援助金制度が設けられ、毎年鯨光会部活動OB会委員長と学校長からの申請に基づいて行われています。これらの予算は、顕彰基金の利息より支出されています。
鯨光会月例会	毎月11日に例会を開くことに決定して以来重ねています。当初は、「愛知一中会月例会」として開催してきましたが、1989（平成元）年度より「鯨光会月例会」と改称され、現在に至っています。
鯨光会名簿	三同窓会が別々に作成していた名簿を、創立110周年記念の1つとして「鯨光会会員名簿」に統一し、1987（昭和62）年に第1刊を、1992（平成4）年に第2刊を、さらに1997（平成9）年に第3刊を、2002（平成14）年に第4刊を作成、発刊しました。東京では「東京鯨光会名簿」として東京愛知一中会・三稜会関東支部・東京旭丘会が共同して1986（昭和61）年に作成、発刊しました。
鯨光文庫	旧職員・三同窓会員などが出版された書籍を収蔵して設立しましたが、現在は570冊に達し充実したものになっています。さらに1999（平成11）年8月、早稲田大学・演劇博物館より、愛知一中の前身・愛知英語学校の第1期生坪内逍遙博士のシェークスピア全集の翻訳本など58冊にのぼる蔵書が図書館に寄贈されました。
愛知一中旧蔵書解題目録	創立120周年記念事業の一つとして、1997（平成9）年に刊行。旭丘高校図書館に蔵書として保管されている約6,000冊の和漢洋の図書について、十数年来歴代の校長先生や関係者の先生方によって進められてきた「古書解題目録」が、一中59回江崎公朗氏の提唱で発刊の運びとなり、全国の代表的図書館、全国旧一中関係高校、愛知県内72の主な図書館に寄贈されました。
総会	東京では、3年に1回、三同窓会が合同で開催しています。



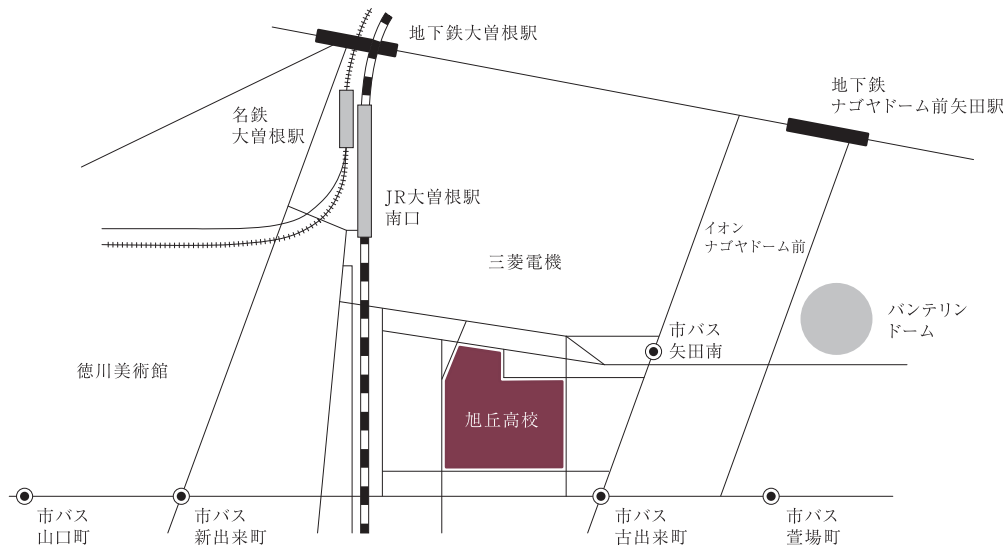
概要

学校名	愛知県立旭丘高等学校
所在地	〒461-0032 愛知県名古屋市中区出来町3-6-15
TEL	052-721-5351
FAX	052-723-6825
WEBSITE	https://aichi-asahigaoka.ed.jp

OFFICIAL
WEBSITE



アクセス



GOOGLE
MAPS



■電車でお越しの方

- ・JR大曽根駅(名古屋駅より12分)下車、南口より徒歩15分
- ・地下鉄大曽根駅下車、徒歩20分
- ・名鉄大曽根駅下車、北口より徒歩20分

■バスでお越しの方

- ・基幹バス（市バス・名鉄バス）古出来町下車、徒歩5分
- ・地下鉄今池駅乗り換え、市バス大曽根行き古出来町下車、徒歩5分



愛知県立旭丘高等学校

〒461-0032 愛知県名古屋市東区出来町3-6-15

Tel:052-721-5351 Fax:052-723-6825

<https://aichi-asahigaoka.ed.jp>

2024.5発行

OFFICIAL
WEBSITE

